

出縄 貴史さん

54歳

掲載号: 2009年2月26日号

マイコミュニティ

神奈川県全域・東京都町田市の地域情報紙



○…「障がい者に良質な仕事を確保し、所得向上につなげたい。月平均約1万5千円とされる工賃を、自立可能な水準までにできれば」。(株)研進社員10人の陣頭指揮を執り、市内進和学園の授産施設を利用する、知的障がい者らの『働く場』創出に奔走している。学園に業務発注してくれる企業への営業、工賃交渉、資金調達、品質管理など、学園の福祉職員では手の回らない、外部との折衝役を請け負っている。授産施設と企業との仲介役を果たす企業は全国でも珍しく、同社の業態は「研進モデル」とされ、業界の先駆的存在として注目を浴びている。

○…損害保険会社で27年間勤めた後、平成17年に父の遺志を継いで同社へ。同学園への長年にわたる業務発注者、本田技研工業とのパイプを保ちつつ、製菓・木工などの技術を活かし、授産事業の多角化にも寄与している。3年前には新規事業として、「いのちの森づくり」を仕掛けた。湘南平などで木の実を集めて育て、行政や企業の植樹活動にポット苗を納入していこうというプロジェクトだ。「環境で社会貢献できる事業と自負していますが、工賃を確保できるよう、ポット苗の販売網を開拓していかなければ」と抱負を語る。

○…障がい者を取り巻く環境整備には、強い使命感を抱く。厚生労働省の福祉助成制度の検討会に招かれるなど、自身の活躍の場は広がっている。同社も昨年、新たな福祉制度の定める「在宅就業支援団体」に認定。これは同社を通じて業務委託した企業には、一定条件で助成金が交付されるという仕組みだ。全国的にも認定団体は少数だが、自身の会社が先駆的なモデルケースとなり、障がい者が自立して生活できる社会実現に貢献にしようと、情熱を注いでいる。「自分たちの実例をもって、福祉と企業の連携が円滑に進むよう、今後も行政や社会に提言していきたい」。柔和な笑顔から奏でる優しい語り口が、次第に熱を帯びていった。